

令和2年度第1回子どもの遊び場推進会議 議事要旨

日時 令和3年2月17日（水） 午後6時30分～午後8時28分
場所 教育委員会室（オンライン会議）

議事日程

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 委員及び事務局自己紹介
- 4 座長、副座長互選
- 5 報告事項
 - (1) 新型コロナウイルス感染症に関連した子どもの外遊びに関する対応について
 - (2) 「くだんしたこどもひろば」の利用状況について
 - (3) 子どもの遊び場確保の取組実績
- 6 意見交換
- 7 その他
- 8 閉会

出席委員（10名）

上智大学名誉教授	師岡 文男
富士見一丁目町会女性部長	荘 絵里子
青少年委員会会長	瀬谷 達郎
青少年委員	飯田 加世子
スポーツ推進委員協議会推薦	岡村 五十鈴
九段小学校PTA会長	木田 昌孝
昌平小学校PTA	久保田 孝太郎
番町小学校副校長	茅野 克俊
麴町地区の町会関係者	谷 眞理子
神田地区の町会関係者	大野 智洋

事業者（1名）

D&A Networks 代表	中田 弾
-----------------	------

出席区理事者（2名）

子ども総務課長	大谷 由佳
生涯学習・スポーツ課長事務取扱 オリンピック・パラリンピック担当部長	依田 昭夫

出席事務局（2名）

子ども総務課事業係長	秋山 和美
子ども総務課主事	濱本 美那

欠席区理事者（1名）

道路公園課長	谷田部 継司
--------	--------

議事日程

1 開会

⇒子ども総務課長より開会の挨拶があった。

2 委嘱状交付

⇒委員に委嘱状を交付した。

3 委員及び事務局自己紹介

⇒各出席委員、事業者及び区理事者より自己紹介があった。

4 座長、副座長互選

⇒座長に師岡委員、副座長に久保田委員を選任した。

5 報告事項

6 意見交換

⇒事務局、事業者及び区理事者からの説明後、各委員からの意見表明、質疑応答等があった。

※各委員からの意見表明、質疑応答等

●新型コロナウイルス感染症に関連した子どもの外遊びに関する対応

(委員) 地域からの苦情や意見は？

(区) 広場の臨時開放について危険という意見が全くなかったわけではないが、子どもを外で遊ばせることができよかったという意見を多数頂戴した。
バスケット競技施設については、地域の意見を踏まえて検討し、閉鎖に至った。

(委員) 事業を継続したときに、密にならないような見回りや措置は行ったのか？

(区) 新型コロナウイルス感染拡大防止に関する注意事項を周知した上で消毒、衛生用品などを用意し、活用を促した。また、熱中症の危険を考慮して、適宜様子を見ながらマスクを着用いただくなど、事業者と打合せを行った。

(事業者) プレーリーダーには、子どもたちと接触するような遊びはできるだけ控えるように伝え、遊び同士が接近しないように声かけを行った。また、気になるお子さんを含めて、消毒液で消毒してから遊ぶ・帰り際に石けんを使って手を洗った上でお帰りいただくといった、遊びの前後でも衛生面に配慮した。

(委員) 遊び場事業を再開したときに、検温や連絡先を記入させるなど、コロナ対策に関

するガイドラインのようなものを設けたのか？また、学生からの不安の声や人員確保の苦労はあったのか？

(区) 事業は自由参加であるため、特段、受付名簿を作成するなどは行っていないが、参加プレーリーダーは、十分体調管理に気をつけ、少しでも体調が悪ければ、当日、参加しないこととした。また、現在まで事例はないが、遊び場に参加した子どもが新型コロナウイルスに感染した場合には、保健所と連携し、適切に案内することとしている。

(事業者) プレーリーダーからは、大学休校の中で、どこまで活動に参加したらいいのかの判断・感染の原因になってしまうことへの不安の声があった。プレーリーダーには事前の検温・体調管理をしてから来るように伝え、安全管理を行った。

●「くだんしたこどもひろば」の利用状況について

(委員) 公園での水分補給の対応及び水道施設の状況は？また、くだんしたこどもひろばのウッドデッキエリアなどは大人のみで利用可能か？飲酒している大人がいないか等、心配である。

(区) 遊び道具保管の倉庫に防災備蓄の水を置いているが、あまり需要はない。また、公園などには水飲み場もあるが、あまり飲みたがらない。水筒などを持参し、適宜補給していただくように呼びかけている。

くだんしたこどもひろばの大人のみ利用は、いかなるエリアにおいてもすべてお断りしている。

(委員) くだんしたこどもひろばの人工芝がある「ボールあそびエリア」「ゆうぐエリア」でも水分補給が可能か。(スポーツドリンクを含む)

(区) くだんしたこどもひろばで、特に水分補給不可能なエリアは設けておらず、禁止の案内、表示等もしていない。飲食に関しては、他の方の迷惑にならないよう注意いただいている。

(委員) 富士見二丁目広場の利用期限は？

(区) 暫定活用だが、今後については明らかになっていない。子ども専用の広場ではなく、どなたでも利用が可能。

(委員) くだんしたこどもひろばを知らない子どもたちがまだまだ多い印象。現在の周知方法は？

(区) 開設時に、東郷公園の工事仮囲い部分に掲示を行った。また、事業周知の方法として、毎年、ポスターとチラシを作成し、年度当初に区立の小学校や施設に配付をしている。本年度はその時期が学校休業中で、遊び場の密を防ぐという観点からも送付を見送った。令和3年度は、例年どおりの対応を行いたい。その他、いいアピール方法を考えていきたい。

●子どもの遊び場確保の取組実績

(委員) 広場の数が少ない。公開空地なども含め、子どもたちが利用するスペースを確保

してほしい。また、中高生の場合づくり、異世代交流についても考えてほしい。

- (区) 総合設計制度の中での公開空地については、どこまで実現につながっているかまでは、把握していないのが実情。

異世代交流の視点からの子どもの遊び場については、本来の子どもの遊びをどう捉えていくのかにも関係してくる。ルールや緩やかな見守りの中で作り上げていけるのが課題。児童館の中高生タイムだけでは補えないところもあるため、課題として認識しながら、今後、どういう展開ができるのか考えていきたい。

●意見表明

- (委員) 学童では、学年が異なる子どもたち同士でくじ引、チーム分けをしたうえで遊ぶ時間帯・場所を区切っている。ルールを守って使えているため、いい遊び方ができているように思う。また、A4サイズの周知ポスターについて、学期ごとにリニューアル・色の変更などをすれば注目度が上がるのではないか。

- (委員) 再開発による公開空地の小さな広場でも友達同士で上手に遊んでおり、広場ができてよかった。

- (委員) 副校長会などでも共有し、遊び場を紹介していきたい。子どもの体力向上のためにも、引き続き、子どもの遊び場について一緒に取り組んでいきたい。

体力テストでのスペース確保が難しい学校もあるため、大きな広場があるといいが、まずは日常的に体を動かせるスペースをつくっていただき感謝。

- (委員) 文京区では、高速下をネットで覆いキャッチボールができる「文京区立音羽児童遊園」というスペースがある。雨の日でも使える利点があるため、参考にしてほしい。

7 その他

- (区) 現在、生涯学習・スポーツ課で郊外にある江戸川の河川敷の利用可能コマ数を増やす取組をしている。

- (区) 今後の推進会議について、こうしたZoomを使つての会議とするのか、対面での会議としていくのかという方法について検討していく必要がある。適切なタイミングで開催し、委員の皆様から意見を賜りながら、事業を展開していきたい。皆様の任期まで引き続きよろしくお願ひしたい。

- (座長) 委員の皆様には、随時、子ども総務課へ情報を共有してほしい。区は、優先順位をつけて、健康、安全を管理しながら事業を進めてほしい。今後も活発に意見を交わしていきたい。

8 閉会

以上